

# 令和6（2024）年度事業報告

## I. 一般会務

### 1. 協会の構成（令和7年3月31日現在）

|                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 顧問                     | 3名                     |
| 理事                     | 15名                    |
| 監事                     | 2名                     |
| 評議員                    | 10名                    |
| 事務職員                   | 22名（常勤嘱託11名、非常勤嘱託3名含む） |
| ※他に補強要員としてアルバイト3名、派遣6名 |                        |

### 2. 会議

#### （1）理事会

##### 1) 令和6（2024）年度第1回理事会

- 議案：第1号 令和5年度事業報告及び決算承認の件  
第2号 令和6年度事業計画及び収支予算一部変更承認の件  
第3号 令和6年度第1回評議員会招集の件  
第4号 顧問の再任について

議決：原案通り承認可決された。  
（令和6年6月6日 Zoom オンライン会議による）

##### 2) 令和6年度第2回理事会

- 議案：第1号 代表理事及び業務執行理事選定の件

議決：原案通り承認可決された。  
（令和6年7月12日 書面または電磁的記録による）

##### 3) 令和6年度第3回理事会

内容：第64回海外日系人大会について（振り返り）  
（令和6年11月22日 Zoom オンライン会議による）

##### 3) 令和6年度第4回理事会

- 議案：第1号 令和7年度事業計画及び収支予算（案）承認の件  
第2号 令和6年度第2回評議員会招集の件

議決：原案通り承認可決された。  
（令和7年3月13日 Zoom オンライン会議による）

## (2) 評議員会

### 1) 令和6年度第1回評議員会

- 議 案：第1号 令和5年度事業報告及び決算承認の件  
第2号 令和6年度事業計画及び収支予算一部変更承認の件  
第3号 役員の選任・再任・退任について  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和6年6月24日 Zoom オンライン会議による)

### 2) 令和6年度第2回評議員会

- 議 案：第1号 令和7年度事業計画及び収支予算(案)承認の件  
議 決：原案通り承認可決された。  
(令和7年3月27日 Zoom オンライン会議による)

## (3) 業務執行理事会

### 1) 令和6年度第1回業務執行理事会

- 議 題：第64回海外日系人大会について  
(令和6年4月26日 Zoom オンライン会議による)

### 2) 令和6年度第2回業務執行理事会

- 議 題：令和6年度第1回理事会について  
(令和6年5月30日 Zoom オンライン会議による)

### 3) 令和6年度第3回業務執行理事会

- 議 題：令和6年度第4回理事会について  
(令和7年3月4日 Zoom オンライン会議による)

## II. 事業の実施

### 1. 海外日系人大会開催事業

本事業は、年1回、海外在住の日系人が本邦で一堂に会し、相互の親睦を深め、日系社会の課題や日系社会間あるいは日系社会と日本との協力の方途について考えることを目的としている。

令和6年度においては、10月15日(火)・16日(水)・17日(木)の3日間、東京(JICA市ヶ谷ほか)において、ハイブリッド形式(対面+オンライン)で、「乗り越えよう、分断と対立の時代を！～共生の実現に貢献するニッケイ社会」をテーマに開催した。

1日目の開会式では、まず海外日系人協会田中克之理事長が主催者挨拶を述べた。石破茂内閣総理大臣の祝辞(青木一彦内閣官房副長官代読)、海外日系人代表としてカナダ日系文化会館(JCCC)クリストファー・ホープ理事長の挨拶の後、海外ニッケイ社会からのビデオメッセージを上映した。開会

式後には、ジャパンハウス・サンパウロ名誉館長のルーベンス・リクペロ氏による基調講演、その後「アメリカンストーリー・ノーマン・ミネタとそのレガシー」を上映し、制作プロデューサーのダイアン・フカミ氏（米国在住）がオンラインで参加者からの質問に応じた。同日夕刻からは、秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと、海外日系人協会主催の参加者歓迎交流会が海運クラブにて開催された。

2日目は、国際シンポジウムに先立ち、外務省中南米日系社会連携推進室の塚本康弘南米課長（同推進室室長兼務）による同推進室の取り組みに関する報告が行われた後、パンアメリカン日系人協会のササキ・バウテル会長（ブラジル）のパンアメリカン日系人協会の活動に関する紹介、第21回パンアメリカン日系人大会に関するパラグアイ日系センターのアキノ・ユカリ副会長からの報告があった。その後の国際シンポジウムでは、「共生を実現したニッケイの活力」、「共生社会に貢献するニッケイ新世代」と題した2つのパネルで活発な討議が行われた。最後にその討議内容や前日の基調講演、2日目の各種報告等を踏まえて作成された大会宣言が採択された。同日夕刻には、外務省飯倉公館で外務大臣主催の海外日系人歓迎レセプションが開催された。3日目には、日系人の主張、在日日系人スピーチの後、大会宣言が発表された。その後海運クラブにて参議院議長主催の歓迎昼食会が行われた。

開催日：令和6年10月15日～17日（3日間）

開催場所：JICA市ヶ谷ビル（対面とZoomによるハイブリッド方式）

総合テーマ：乗り越えよう、分断と対立の時代を！～共生の実現に貢献する  
ニッケイ社会

参加者数：20カ国175名（対面参加者）

オンライン参加登録者259名

## 2. 内外日系社会広報事業

### （1）「ニッケイ・ネットワーク（海外日系人協会だより）」紙発行

当協会の実施事業、移住者・日系人・日系社会にまつわる国内外の情報、日系人相談センター相談事例等を発信するものである。

令和6年度においては、年4回（61号～64号）、各号2,000部を発行し国内の関係各所へ配布。海外へは電子版を配信したほか、広くWEBサイトやSNSでも紹介した。誌面には、6月20日の「国際日系デー」を記念して実施したオンライン・クイズショーや、第64回海外日系人大会の実施報告、「令和6年度在日日系人のための生活相談員セミナー」実施報告のほか、各種研修コースや、世界各地で活躍する日系人等の紹介、日系人・日系社会にまつわる国内外のトピックを幅広く掲載した。

## （２）協会 WEB サイト運営

当協会 WEB サイトについては、適宜改善やメンテナンスを行いつつ、より利便性の高いサイトとなるための検討を継続したほか、引き続き SNS を通じた訴求力のある情報発信を心がけた。また、多言語ページの内容充実を図るため、情報が不足しているページの洗い出しを行ったほか、必要に応じて日本語ページに対応する英語・スペイン語・ポルトガル語の翻訳を発注し、次年度に更新ができる体制を準備した。

## （３）国際日系デー行事

6月20日の国際日系デー、6月18日の移住の日にちなみ、JICA 横浜の後援を得て、日系社会の重要性の周知を目的としたオンライン・クイズショー「クイズ！NIKKEI around the WORLD the 2nd」をオンライン配信した。

日系社会にまつわるあれこれをクイズとして出題するにあたり、事前にクイズのネタとなる情報を広く募集したところ、各地の日系社会からたくさんの情報が寄せられた。採用したネタを元にクイズを作成しオンライン上で事前に出題、回答を募ったうえで、イベント当日のクイズショーでは、現役の日系留学生2名を進行役に、クイズの解答発表と解説を行った。成績優秀者及びクイズのネタ提供者には、記念品（ロゴマーク入りエコバッグ）を贈呈した。今回は、ブラジルとボリビアから動画による出題と解説をいただいたほか、各地の日系社会より画像や情報を寄せていただき、前回に続き多くの人に楽しんでいただけたイベントとなった。

クイズショーの様子は、当協会 YouTube チャンネルで公開している。

## （４）日系人に関する教科書記述内容調査

日本国民に日系社会の重要性を周知してもらうためには、日本の教科書の中で移住、日系人、日系社会について質的・量的に十分な記述が行われることが極めて重要であるとの考えから、令和3年度に教科書記述内容調査を実施した。調査結果を発表した令和4年度第62回海外日系人大会では、教科書への記述だけではなく教員に対する海外移住についての知識の普及や、教員が授業で取り上げやすくなるようなプログラムの作成・実施の重要性についても指摘があった。

そこで令和6年度は、海外移住資料館管理運営業務【展示・イベント部門】において実施した「教員のための博物館の日」への参加や、教育プログラム開発のための学術研究プロジェクトへのオブザーバー参加等、日本人の海外移住の歴史が学校教育の中で扱われやすくなるための働きかけを行った。

## （５）海外日系新聞放送協会支援

本業務は、海外に所在する日系新聞16社により組織され、当協会に事務局を置く「一般社団法人海外日系新聞放送協会」が開催する年次総会および

主催事業を支援するものである。

令和6年度は、10月にハイブリッドで開催された第51回年次大会（参加者は12カ国20名）に加え、令和5年度の第50回年次大会で決議されたマレーシアにおける海外大会（5月27日～29日）の開催を支援した。さらに、首相が海外の首脳と会談した際の政府広報及び政党広告の作成、「海外日系新聞放送協会50年記念誌」の作成を支援した。

### 3. 在日日系人対応事業

#### （1）日系人相談センター

本業務は、海外日系人協会内に設置されている「日系人相談センター」の常設電話窓口において、日系人からの生活相談等に対し、対処方法の指導、知識・情報の提供、関係機関・団体の紹介・取り次ぎ等を日本語、スペイン語、ポルトガル語により実施するものである。更に、機関紙「ニッケイ・ネットワーク（海外日系人協会だより）」の中で、実際の相談事例とその対応について紹介し、日系人の生活や就労等に係る情報を提供している。

令和6年度においては、就労ビザ、年金、労災、家庭の問題や、4世ビザ、留学等に関する相談（計181名、269件）に対応した。

#### （2）在日日系人のための生活相談員セミナー

各地方自治体や地域の国際交流協会等においては、日系人に係る種々の問題に対処すべく、相談窓口が設置され相談業務が実施されている。本業務は、当協会が設置している日系人相談センターの業務を軸として、地方自治体等の相談担当者間の連携強化や、情報・知識の共有を図り、相談対応業務の円滑化を図ることを目的としている。

令和6年度も、JICA 横浜の設備改修工事により実施会場として借用しているセミナールームが使用不可であったことから、対面開催は行わず Zoom によるオンライン開催とした。

開催日： 令和7年3月14日（金）

開催形態： Zoom ウェビナーによるオンライン開催

テーマ： 多文化共生に貢献する在日日系二世世代

参加人数： 85名

### 4. 日系社会との連携強化事業 日系社会視察の旅

本事業は、主として、ブラジル、アルゼンチン等の海外日系社会の視察を通じ、移住者・日系人支援事業に対する理解を深めるとともに、移住者・日系人との交流を促進することを目的として実施してきた。

令和6年度は、世界的な状況および参加ニーズを見つつ、実施の可否について検討した結果、実施を見送った。

## 5. 継承日本語教育事業

本事業は、日系社会において親から子へと世代とともに継承されていくべき日本語教育の普及を目的として、当協会内に設置した「継承日本語教育センター」を運営するものである。

令和6年度においては、そのノウハウを日系継承教育（教師育成Ⅰ）・日本文化活動コーディネーター育成コース等、当協会が実施するJICA日系社会研修及び日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）等に活用した。

また、JICAの許諾を得て令和元年度より当協会ホームページ内で公開している「にほんごドレミ」「にほんごチャレンジ」（本冊及び教師用マニュアル等）は、海外の日本語学校がオンライン授業を実施するにあたり有効活用された。その他、教育手法や既存教材の活用について広報活動に努めた。

## 6. ブラジル移住者里帰り訪日使節団事業

本事業は、日本ブラジル2国間における相互理解と友好親善の促進に寄与することを目的として、ブラジル移住の先駆者をその子孫も含めて招へいするものである。竹内政司氏による指定寄付金を財源とするブラジル日本文化福祉協会との共同事業であり、当協会は、招へい者の来日および日本滞在の手配、来日中のプログラムの企画実施を担当している。

令和6年度は、竹内氏のご意向により「来日経験のない者」「地方の日系団体に活躍する若者」という観点からブラジル側で選出された若手2名を招へいした。2名は、第64回海外日系人大会に参加し、「日系人の主張」（5分間スピーチ）にそれぞれ登壇したほか、各国参加者並びに当協会スタッフ等との交流を深めた。

## 7. 日本財団日系スカラーシップ事業（日本財団）

日本財団は、居住国と日本との間の理解促進や居住国・地域社会の発展に貢献するための具体的な計画や夢を持つ若い日系人に対し、その実現のため日本留学の機会を与える事業を実施している。

本事業は、当該事業の留学生の募集・選考・受入準備・奨学金の支給等の業務を実施するものである。

令和6年度においては、7カ国36名の留学生に対する業務を実施した。

## 8. 日系社会研修員研修事業（JICA）

本事業は、JICA日系社会研修員受入事業の受託であり、日系社会において人材の育成が求められている分野について、その研修の実施を協会が提案し、JICAの承認を受けて実施するものである。

令和6年度においては、以下のとおり来日研修を実施した。なお、資格要件を満たす研修員応募者が不足したコース及び実施が困難と判断されたコー

スについては、実施に至らなかった。

| 研 修 コ ー ス            | 人数 | 研修<br>期間 | 研 修 内 容                                                |
|----------------------|----|----------|--------------------------------------------------------|
| 日系継承教育（教師育成Ⅰ）        | 6  | 5ヶ月      | 初級前半の日本語及び日本文化活動指導研修                                   |
| 日系継承教育（教師育成Ⅱ）        | 6  | 2ヶ月      | 初級全般の日本語及び日本文化活動指導研修                                   |
| 食を通じた日系団体活性化         | 6  | 1ヶ月      | 食を通じた地域活性化のための青年部活動に関する知識の習得                           |
| 着物を通じた日系社会活性化        | 6  | 1.5ヶ月    | 着物に関する一般的知識並びに活用・普及、管理・保存に関する知識および技術を習得し、日系社会の活性化を目指す  |
| 持続可能な日系団体運営管理        | 8  | 1ヶ月      | 団体運営手法に関する知識やコミュニティビジネス、種々の事業に関する講義及び活動現場の視察           |
| 日本文化活動コーディネーター育成（基礎） | 5  | 1.5ヶ月    | 日本文化活動事業に関する基礎的な企画実施方法を習得する研修                          |
| 日本文化活動コーディネーター育成（応用） | 6  | 1.5ヶ月    | 日本文化活動事業に関する実践的な企画実施方法を習得する研修                          |
| キューバ日系社会活性化          | 6  | 1ヶ月      | キューバ共和国の日系団体強化に必要な知識の習得                                |
| 日系資料館運営改善に向けた資料の有効活用 | 3  | 1ヶ月      | 移住資料館の運営及び資料の有効活用に関する全般的な知識を習得し、自国において実践普及することを目的とする研修 |
| 日系団体若手リーダー育成         | 3  | 1ヶ月      | ドミニカ共和国の日系団体において次世代を担う人材の育成を目的とした研修                    |
| 計                    | 55 |          |                                                        |

## 9. 日系社会研修導入・実施支援事業（JICA）

### （1）日系社会研修実施支援業務

本業務では、JICAが受入れる日系社会研修員の選考および来日のための必要資料の作成、また、来日後の日本国内における研修や生活の円滑化を図るためのオリエンテーション等を行う。

#### ① ブリーフィング・オリエンテーション業務

令和6年度は全日系社会研修員184名を対象に、3日間のブリーフィング・オリエンテーション業務を実施し、生活諸手当、防災、日系社会研修員の生活全般についての説明等を行った。

#### ②受入支援業務

令和6年度においては、229件の応募書類受付を行った。

### （2）日本語研修実施業務

本業務は、日系社会研修員のうち日本語能力の不十分な者に対し、技術研修

開始前に研修効果をより高めることを目的とした日本語理解力アップ重視の研修を実施するものである。令和6年度は、計134名に日本語研修を実施した。

### (3) 日系サポーター向けの業務

本業務は、日本国内の日系人集住都市にある学校や自治体、NGOなどで研修員(日系サポーター)を受入れ、研修を実施するものである。

令和6年度は、各地で研修を行っている日系サポーターを対象に、研修の中間或いは帰国前にオンラインによる報告会(計4回)を実施したほか、各地にある在日日系人支援団体間のネットワーク構築を図った。

## 10. 日系社会次世代育成研修事業(JICA・中学生招へいプログラム)

本事業は、北中南米諸国において日本語を学んでいる12才から15才の生徒のうち、成績優秀な者を24日間、日本に招へいし、日本語学習への意欲の向上、日本理解の促進、ひいては現地日本語教育の振興、人材育成に寄与することを目的とし、中学校への体験入学及びホームステイ並びに見学研修を実施するものである。

新型コロナウイルスの流行に伴い訪日研修が実施不可となったことから、令和2年度よりオンラインによる移住学習を導入し、令和3年度からは、オンライン移住学習に加え本邦研修で実施するプログラムの一部をオンライン上で疑似体験する「オンライン日本体験プログラム」も実施してきた。

令和5年度からは、年2回の訪日研修を再開。令和6年度も下記の通り2回の訪日研修を実施した。なお、コロナ下では多くの子弟の来日機会が失われたことから、少しでも多くの子弟の来日が可能となるよう令和5年より特別増枠があり、令和6年度も高校生年齢にあたる2名が特別枠にて参加した。

第1陣 令和6年6月17日～7月10日

対象地域：北中米地域 5カ国 研修生徒数：15名

第2陣 令和7年1月14日～2月6日

対象地域：南米地域 5カ国 研修生徒数：36名

## 11. 日系社会海外協力隊支援事業(JICA)

JICAは、移住者・日系人社会を通じた技術協力事業並びに移住者・日系人社会支援事業の一環として、中南米の日系社会の一層の発展を図ることにより、その社会の属する地域や国の発展を図ることを目的に、日系社会の要望に応じ、優秀な技術と奉仕の精神に富んだ日本の青年及びシニアのボランティアを2年間派遣する日系社会海外協力隊派遣事業を実施し

ている。

本事業は、日系社会で活動予定の海外協力隊を対象に、派遣前に課題別派遣前訓練「日系社会講座」（旧称：日系社会技術補完研修）等を実施するものである。

令和6年度は、以下の通り5回実施した。

なお、令和6年度より、年間の派遣隊次が4回から3回に変更された。また、令和6年度2次隊に関しては、JICAの意向によりオンラインにて実施した。

4月3日～5日（対象：令和5年度4次隊11名・日系社会講座）

7月10日～12日（対象：令和6年度1次隊2名・日系日本語教授法）

7月17日～19日（対象：令和6年度1次隊19名・日系社会講座）

11月11日・12日（対象：令和6年度2次隊12名・日系社会講座）

3月24日～26日（対象：令和6年度3次隊18名・日系社会講座）

## 12. 移住者・日系人支援にかかる運営管理業務（JICA）

### （1）移住者の団体に対する助成金交付の実施促進業務

JICAは、中南米の日系団体が自主的に行う医療衛生対策、教育文化対策、施設等整備の事業に対して、助成金の交付による援助指導事業を行っている。本業務は、当該助成金交付に係る、実施計画の作成と精算の事務手続に関する業務を実施するものである。

令和6年度においては、11案件に対し助成金の交付が実施された。

### （2）日系社会リーダー育成業務

JICAは、将来の日系社会のリーダーや日本と居住国との架け橋となり得る人材を育成することを目的に、我が国の大学院に留学する日系人に対し滞在費・学費等の手当を支給している。本業務は、支給対象者の募集・選考・受入準備・手当の支給等の業務を実施するものである。

令和6年度においては、7カ国27名の留学生に対し業務を実施した。

## 13. 日系人就労環境改善事業（厚生労働省）

本事業は、ブラジル等に居住する日系人が我が国において就労するにあたり、来日前に正しい情報を提供することにより、我が国における適正な就労経路の確保及び適正に就労できる環境の整備を目的に、厚生労働省からの委託を受け、ブラジル国サンパウロ市に所在する（社）国外就労者情報援護センター（CIATE）に対する支援を中心とした業務を実施するものである。

令和6年度においては、オンラインも活用しつつ下記の業務を実施した。

- 1) 来日前における日系人に対する情報の提供の実施
- 2) 現地相談窓口での日系人の就労経路の適正化に関する業務の実施
- 3) その他、日系人の就労環境改善に関する業務

#### 1 4. 海外移住資料館管理運営事業（JICA）

JICA横浜センターは、我が国の海外移住の歴史及び移住者・日系人の現状に関する情報提供を目的として、センター内に海外移住資料館を設置している。本事業は、当該資料館の管理運営にあたり、常設展示室・収蔵庫の保守、収集・収蔵資料にかかる学芸業務、企画展示・公開講座・その他イベント等関連業務、資料館案内、情報展示システム・情報検索システムの運用、閲覧室業務などを実施するものである。

当協会は、令和5年度より新たに5年間の特命随意契約を結んでいる研究・学芸部門、および同年度落札した展示・イベント部門について受託し、当該資料館に係る全ての業務を実施した。

令和6年度の年間入館者数は40,528人であった。

#### 1 5. 海外出張

- (1) 海外日系新聞放送協会総会（内外日系社会広報事業）

出張者：海外日系新聞放送協会支援事業担当職員

出張先：マレーシア、タイ

期 間：令和6年5月26日～6月2日

- (2) 海外移住資料館企画展示準備（海外移住資料館管理運営事業関係）

出張者：海外移住資料館管理運営事業 学芸担当職員

出張先：北米

期 間：令和6年7月10日～7月19日

- (3) CIATE コラボドーレス研修セミナー参加（厚生労働省受託事業関係）

出張者：代表理事、評議員、参事

出張先：ブラジル

期 間：令和6年10月29日～11月9日

- (4) 日本財団日系スカラシップ面接選考（日本財団助成事業関係）

出張者：日本財団日系スカラシップ事業担当職員

出張先：ペルー、ブラジル

期 間：令和6年10月31日～11月14日

以上